

第265回教育研究評議会議事要録

1 日時 令和7年4月25日（金）13:30～15:20

2 場所 事務局第1会議室

3 新任部局長等の紹介

議長から、令和7年4月1日付けの部局長の異動について紹介があった後、新任部局長から挨拶があった。

4 部課長等の紹介

事務局長から、令和7年4月1日付けの部課長等の異動について紹介があった。

5 議事

(1) (個人情報を含む審議事項であるため非公開)

(2) (個人情報を含む審議事項であるため非公開)

(3) 長崎大学名誉教授の選考について

学長から、令和7年3月に退職した本学教授のうち、各部局の運営会議の議を経て、学長に上申のあった13名について、名誉教授の選考を行う旨の説明があった。

引き続き、各部局等の長から、資料3に基づき、本学における業績等について説明があり、投票の結果、13名全員に名誉教授の称号を授与することが了承された。

(4) サラヤ株式会社等との包括的連携に関する協定の締結について

理事（研究・戦略企画担当）及び病院感染制御教育センター長から、資料4に基づき、ケニア医療機関に対する抗菌薬適正使用体制の支援を行うことを目的としたAMR（薬剤耐性）対策プロジェクトを計画し、本学、サラヤ株式会社、塩野義製薬株式会社及び株式会社Connect Afyaの4者間の包括連携協定を締結することについて説明があり、審議の結果、了承された。

6 報告事項

(1) 令和6年度国家試験合格状況について

理事（教学担当）から、資料5に基づき、令和6年度国家試験の合格状況について報告があった。

(2) 人文社会科学系大学院コンソーシアムに関する協定書の締結について

理事（教学担当）及び多文化社会学研究科長から、資料6に基づき、千葉大学の卓越大学院プログラム「アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文学教育プログラム」を通じて千葉大学、岡山大学、熊本大学及び国立歴史民俗博物館と教育連携を行っている多文化社会学研究科が、新潟大学、金沢大学を加えた新たな人文社会科学系大学院コンソーシアム設立に向け、協定書を締結することについて報告があった。

(3) 令和6年度後期の自己評価ルーブリックの入力率について

理事（教学担当）から、資料7に基づき、第4期中期目標・中期計画において、令和6年度からルーブリック入力率を毎年度75%以上にすることが指標となっている旨の説明があり、令和6年度後期の学部別の入力率について、経済学部及び情報データ科学部を除く8学部が75%以上を達成していることの報告があった。

(4) 福島県と国立大学法人長崎大学との包括連携に関する協定の締結について

学長から、資料8に基づき、本学と福島県との包括連携協定について、4月24日に福島県庁にて締結式を実施した旨の報告があった。

以上